



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所 東・名  
 コード番号 7975 URL http://www.lihit-lab.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中宏和  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)大内高明 (TEL)06(6946)2525  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	4,764	2.1	102	△55.0	163	△49.7	88	△55.1
26年2月期第2四半期	4,668	1.3	228	15.9	324	141.6	197	172.3

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 96百万円(△73.5%) 26年2月期第2四半期 363百万円(273.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	5.24	—
26年2月期第2四半期	11.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	12,976	8,535	65.8
26年2月期	13,128	8,524	64.9

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 8,535百万円 26年2月期 8,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	3.4	100	△55.7	200	△47.6	110	△47.3	6.48

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期2Q	19,078,500株	26年2月期	19,078,500株
27年2月期2Q	2,093,395株	26年2月期	2,091,898株
27年2月期2Q	16,986,060株	26年2月期2Q	17,587,104株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)の我が国経済は、政府・日銀の経済政策・金融緩和策を背景に緩やかな回復基調にありましたが、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動減の長期化や輸出の伸び悩み等により景気の回復が遅れる等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、法人需要が依然として低調のまま推移し、消費税率引き上げの影響も受け、期間の後半にかけ売上が低迷する等、引き続き低調な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、事務用品等事業において「良い品はお徳です」をモットーに、積極的にパーソナルユースの購買層の幅を広げるべく、魅力ある新製品を投入し、売上の拡大に努めてまいりました。

新製品では、発表以来好評のSMART FIT(スマートフィット)シリーズやAQUA DROPs(アクアドロップス)シリーズ、机収納シリーズが順調に売上を拡大し、好調に推移いたしました。

一方、既存製品群は、新製品との入替等が進みながらも、売上を維持いたしました。

この結果、事務用品等事業の売上は増収となりましたが、期間の後半にかけ売上が伸び悩み厳しい状況で推移いたしました。

また、不動産賃貸事業は、テナント賃貸収入等が若干減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、47億6千4百万円(前年同期比2.1%増)となりました。利益面につきましては、売上が伸び悩んだことに加え、為替相場の円安進行等により事務用品等事業の製品、原材料等の調達コストが大幅に上昇したため、営業利益は1億2百万円(前年同期比55.0%減)となりました。経常利益は、USドル建債権等による為替差益4千5百万円を計上しましたが、計上額が前年同期より減少したこと等により1億6千3百万円(前年同期比49.7%減)となり、四半期純利益は8千8百万円(前年同期比55.1%減)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ァ イ ル	1,619	34.0	0.1
バインダー・クリヤーブック	1,070	22.5	3.5
収 納 整 理 用 品	1,296	27.2	9.9
そ の 他 事 務 用 品	595	12.5	△8.3
事 務 用 品 等 事 業	4,580	96.2	2.2
不 動 産 賃 貸 事 業	183	3.8	△2.1
合 計	4,764	100.0	2.1

#### 【事務用品等】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

##### <ファイル部門>

ルーバーファイル、アクアドロップス・リングファイル、パンチレスファイル、リクエスト・D型リングファイル等は、順調に推移いたしました。別製品受注が法人需要低迷の影響で伸び悩みました。その結果、ファイル部門の売上高は16億1千9百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

##### <バインダー・クリヤーブック部門>

新製品では、AQUA DROPsシリーズのB2サイズ等大型サイズを拡充したクリヤーブック<ポケット交換タイプ>や、ツイストリング・ノートをシリーズ展開した1/3(ワンサード)インチピッチシリーズの専用パンチ、プレゼン資料製本用多穴パンチが売上を伸ばし、既存製品では、リクエスト・クリヤーブック、ツイストリング・ノートが順調に売上を伸ばしました。その結果、バインダー・クリヤーブック部門の売上高は10億7千万円(前年同期比3.5%増)となりました。

##### <収納整理用品部門>

新製品では、SMART FITシリーズのキャリングポーチ、キャリングバッグ、キャリングトートバッグ等や、机収納シリーズの機能等を充実させた机上台、ファイルケース、コングレスケース等薄型ケース類が大きく売上を伸ばしました。また既存製品では、バック・イン・バック、ポイントカードホルダー等が売上を伸ばしました。その結果、収納整理用品部門の売上高は12億9千6百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

##### <その他事務用品部門>

家庭向けメディカル用品のMS+(エムエスプラス)が売上を堅持しましたが、既存製品等が低調に推移し、その他事務用品部門の売上高は5億9千5百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は、45億8千万円(前年同期比2.2%増)となり、営業利益は5千8百万円となりました。

#### 【不動産賃貸】

不動産賃貸事業は、賃貸市況低下の影響と本社ビルの貸室稼働率が低下したこと等により、売上高は1億8千3百万円(前年同期比2.1%減)となり、営業利益は4千4百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ1億5千2百万円減少し、129億7千6百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少等により流動資産が1億6千6百万円減少したことによるものであります。純資産は1千1百万円増加し、85億3千5百万円となり、その結果自己資本比率は65.8%となりました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが7億2千6百万円の資金の増加となったこと等により、前連結会計年度末に比べ3億4千4百万円増加し15億6千5百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、7億2千6百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、136百万円となりました。これは主として生産設備等の有形固定資産の取得等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、2億4千4百万円となりました。これは主として長期借入金の返済、配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年2月期の通期業績予想につきましては、平成26年10月10日付で公表しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、下記のように修正いたします。

平成27年2月期 連結業績予想数値の修正（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,300	230	250	150	8.83
今回修正予想 (B)	9,300	100	200	110	6.48
増 減 額 (B-A)	0	△130	△50	△40	
増 減 率 (%)	0.0	△56.5	△20.0	△26.7	
(ご参考) 前期実績 (平成26年2月期)	8,992	225	381	208	12.07

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,221,040	1,565,183
受取手形及び売掛金	1,801,991	1,500,540
商品及び製品	1,479,713	1,327,113
仕掛品	70,618	58,933
原材料及び貯蔵品	682,596	713,983
繰延税金資産	86,617	59,510
その他	188,015	138,859
貸倒引当金	△3,649	△3,192
流動資産合計	5,526,943	5,360,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,671,882	2,647,190
機械装置及び運搬具（純額）	778,612	723,628
土地	2,925,180	2,925,180
リース資産（純額）	1,885	1,053
その他（純額）	146,377	125,558
有形固定資産合計	6,523,938	6,422,611
無形固定資産	56,552	47,703
投資その他の資産		
投資有価証券	631,511	774,369
その他	396,971	377,662
貸倒引当金	△7,450	△7,207
投資その他の資産合計	1,021,032	1,144,824
固定資産合計	7,601,523	7,615,138
資産合計	13,128,467	12,976,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	814,524	789,595
短期借入金	569,000	543,000
リース債務	1,656	1,145
未払法人税等	96,578	64,908
賞与引当金	111,381	102,099
役員賞与引当金	12,250	11,350
その他	410,166	457,746
流動負債合計	2,015,556	1,969,845
固定負債		
長期借入金	1,088,000	956,000
リース債務	329	—
繰延税金負債	209,856	233,174
退職給付引当金	883,817	876,876
役員退職慰労引当金	157,124	153,075
その他	249,564	251,695
固定負債合計	2,588,692	2,470,821
負債合計	4,604,249	4,440,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	5,357,938	5,361,978
自己株式	△397,599	△397,877
株主資本合計	8,202,201	8,205,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,737	258,363
繰延ヘッジ損益	33,845	17,169
為替換算調整勘定	121,434	53,908
その他の包括利益累計額合計	322,016	329,441
純資産合計	8,524,217	8,535,403
負債純資産合計	13,128,467	12,976,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	4,668,707	4,764,751
売上原価	3,077,778	3,258,569
売上総利益	1,590,929	1,506,182
販売費及び一般管理費	1,362,343	1,403,252
営業利益	228,586	102,929
営業外収益		
受取利息	633	604
受取配当金	6,368	7,768
受取保険金	477	5,239
為替差益	95,037	45,869
雑収入	8,360	13,383
営業外収益合計	110,876	72,865
営業外費用		
支払利息	9,996	7,817
為替差損	119	—
雑損失	5,101	4,814
営業外費用合計	15,217	12,632
経常利益	324,245	163,162
特別損失		
固定資産廃棄損	2,925	4,037
特別損失合計	2,925	4,037
税金等調整前四半期純利益	321,319	159,124
法人税、住民税及び事業税	111,794	60,465
法人税等調整額	11,577	9,687
法人税等合計	123,371	70,152
少数株主損益調整前四半期純利益	197,947	88,972
四半期純利益	197,947	88,972



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	197,947	88,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,179	91,626
繰延ヘッジ損益	200	△16,675
為替換算調整勘定	109,443	△67,525
その他の包括利益合計	165,822	7,424
四半期包括利益	363,770	96,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363,770	96,397
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	321,319	159,124
減価償却費	195,237	210,225
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△300	△465
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△36,483	△6,941
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,328	△4,049
受取利息及び受取配当金	△7,001	△8,372
支払利息	9,996	7,817
固定資産廃棄損	2,925	4,037
売上債権の増減額(△は増加)	201,112	301,450
たな卸資産の増減額(△は増加)	123,701	112,798
仕入債務の増減額(△は減少)	△353,013	△12,809
その他	31,067	47,871
小計	489,888	810,688
利息及び配当金の受取額	7,001	8,372
利息の支払額	△9,966	△7,808
法人税等の支払額	△91,941	△85,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	394,982	726,140
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△67,547	△151,345
無形固定資産の取得による支出	△5,190	—
投資有価証券の取得による支出	△498	△580
その他	△2,819	14,993
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,056	△136,933
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△158,000	△158,000
自己株式の取得による支出	△145,189	△278
配当金の支払額	△88,711	△85,018
その他	△874	△840
財務活動によるキャッシュ・フロー	△392,775	△244,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,585	△926
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66,263	344,143
現金及び現金同等物の期首残高	1,548,169	1,221,040
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,481,906	1,565,183

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,480,790	187,917	4,668,707	—	4,668,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	807	807	△807	—
計	4,480,790	188,725	4,669,515	△807	4,668,707
セグメント利益	191,161	37,424	228,586	—	228,586

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,580,755	183,996	4,764,751	—	4,764,751
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	828	828	△828	—
計	4,580,755	184,824	4,765,580	△828	4,764,751
セグメント利益	58,041	44,887	102,929	—	102,929

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。